

長岡市長、ホノルル市長に訪問団の受入れなどを要請

先ごろ、全国市長会（会長・佐竹敬久・秋田市長）と米国市長会（会長・ダグラス・パーマー・トレントン市長）が米国ハワイ州ホノルル市で開催した「日米市長交流会議」に、森長岡市長が全国市長会の副会長として参加しました。

開催地となったホノルル市のムフィ・ハネマン市長と親しく接する機会を得た森市長は、両市間の歴史的な縁を踏まえて長岡市から派遣する訪問団の受入れを要請。ハネマン市長からは、受け入れの意向が示されました。

1 ホノルル市長への要請

○長岡市から派遣する訪問団の受け入れ

山本五十六連合艦隊司令長官の故郷という縁を踏まえ、歴史的な事実について相互理解を深めるための訪問団を派遣したいので受け入れて欲しい。

○ホノルル市長による長岡市訪問

戦災や自然災害からの復興の歴史を持つ長岡市を、ホノルル市長に訪問して欲しい。

2 日米市長交流会議とは

日米両国で共通する都市問題についての意見交換、友好親善と相互理解を目的に、平成元年、東京で第1回会議を開催。

9回目となる今回のテーマは「都市における環境問題への取組み」。日本側からは、全国市長会会長である秋田市長、9人の副会長のうち長岡市長、裾野市長（静岡）、高松市長、大分市長が参加。

（ 問い合わせ：国際交流課・和田 電話39-2207 ）

日米市長交流会議への参加とホノルル市長表敬



「都市の環境問題」をテーマにした今回の日米市長交流会議。参加した日米の市長たちと



アリゾナ記念館（直下の海中には日本軍の真珠湾攻撃で沈んだ戦艦アリゾナが眠る）



日米市長交流会議の関係者とともに「国立太平洋記念墓地」の慰霊碑に献花



「国立太平洋記念墓地」の管理責任者と



ホノルル市長ムフィ・ハネマン氏と（氏は身長2メートルの巨漢）